

2021年4月8日

Okta Japan 株式会社

報道関係者各位

(米国報道発表資料抄訳：2021年4月7日現地時間)

【抄訳】 Okta、アプリ開発者向けツール 「Okta Starter Developer Edition」を発表 強化されたドキュメンテーション、オープンソースのインテグレーションを提供

アイデンティティ管理のサービスプロバイダーである Okta, Inc.（本社：米国・サンフランシスコ 以下 Okta）は、Okta 主催イベント「[Oktane21](#)」にて、Okta の認証、認可、ユーザー管理をアプリに組み込むための開発者向けツール「Okta Starter Developer Edition」を発表しました。この Okta Starter Developer Edition は、月間最大 15,000 人のアクティブユーザーまで無料で利用できます。様々なアプリに対応でき、アダプティブ MFA（適応型多要素認証）や API Access Management など、Okta の Customer Identity 製品へのアクセスが含まれています。さらに、開発者は Okta を使用してこれまでになく迅速にアプリを展開し、アプリ開発ライフサイクル全体にわたってアイデンティティのあらゆるユースケースに対応できます。開発者は、強化されたドキュメンテーション、サンプルアプリ、継続的インテグレーション（CI）と継続的デリバリー（CD）、マイクロサービス、API などにまたがる新しい統合にアクセスできます。

開発者は、現代の組織においてミッションクリティカルな存在です。お客様向けのデジタルサービスの提供から、インフラのエコシステム全体のアップデートの管理と展開にいたるまで、ビジネス全体のイノベーションを推進する上で重要な役割を担っています。優秀な開発者を必要とする企業が増加しているにも関わらず、世界的には人材不足です。そのため、拡張性、ドキュメンテーション、自動化サービスなど、開発者の時間を節約し、日々の効率を向上させるツールは必要不可欠です。スピードを求められるだけでなく、開発者はセキュリティ面でも細心の注意を払うことが求められています。開発者は、ハイブリッド、クラウドネイティブ、マルチクラウド環境のソフトウェア・サプライチェーンとシームレスに統合しながら、一から安全に構築することができるツールを必要としているのです。

Okta の最高製品責任者（CPO）であるディヤ・ジョリー（Diya Jolly）は次のように述べています。「Okta のビジョンは、あらゆる人があらゆるテクノロジーを安全に利用できるようにすることです。このビジョンを実現するために重要な役割を担うのが開発者であり、開発者が Okta を利用することで、あらゆる開発プロセスを容易にすることが我々の使命です。開発者は Starter Developer Edition を無料で利用することができ、再考された開発者エクスペリエンスにより、開発者が構築しているハイブリッド、クラウド、マルチクラウド環境全体で開発者のツールチェーンとシームレスに連携するツールを提供します。開発者がアイデンティティを使って何かをする必要がある場合、Okta でそれを実行できます。」

MongoDB の製品管理ディレクターであるベンジャミン・セファロ（Benjamin Cefalo）氏は次のように述べています。「MongoDB は、あらゆる場所のイノベーターにソフトウェアとデータの力を提供するために作られました。そして私達は、複雑な規模と敏捷性の課題を解決するために DNA を共有するテクノロジーに惹かれています。Okta を利用して、アイデンティティセキュリティの力を活用しています。Okta プラットフォームと API により、チームは迅速に動いて、ユーザーを喜ばせる高度に拡張性のあるカスタマイズ可能で安全なエクスペリエンスを構築できます。」

開発者のための Okta Identity Cloud を提供

開発者は、月間最大 15,000 人のアクティブユーザーまで無料で利用できる Okta Starter Developer Edition により、これまで以上に Okta Identity Cloud を活用できます。さらに、この中には、アダプティブ MFA を含む強力な Okta の Customer Identity 製品が含まれているため、開発者はより安全に無料で構築できます。

セキュアなアプリ、API、インフラ

Okta Starter Developer Edition は、すべての Okta のお客様向けに再考された開発エクスペリエンスと再設計されたコンソールによって補完され、市場投入までの時間短縮と完全なアプリ開発ライフサイクルのサポートを提供します。開発者は、Go、Java、JavaScript、Python、VueJS、React Native、Spring Boot など、最も人気のある言語とフレームワーク向けの拡張ドキュメント、ガイド、サンプルアプリを通じて、迅速に開発できるようになりました。さらに、DevOps、SecOps、API セキュリティツールとの強力な新しい統合により、開発者はさまざまなユースケースでアイデンティティの力を活用して、アプリ、API、インフラを保護できます。新しい統合には、CI / CD パイプライン全体でアイデンティティを自動化する Heroku、API を保護する Kong、環境間で Okta の構成を複製する Okta Terraform プロバイダーが含まれます。

Kong Inc の製品担当バイスプレジデントである Reza Shafii 氏は次のように述べています。「Kong を使用すると、開発者、エンタープライズアーキテクト、インフラストラクチャ管理者は、今日のクラウドネイティブの世界でアプリケーション接続のニーズに対応できます。Kong Konnect プラットフォームが提供する機能は、Okta などの他の主要なプラットフォームと緊密に統合することで強化されています。Okta と Kong が連携することで、最新のアプリ開発における 2 つの重要な要素である接続性と認証が大幅に容易になり、アプリの開発者はより多くの時間を取り戻すことができ、より迅速に信頼性の高いデジタルエクスペリエンスを構築できるようになります。」

提供開始予定日

強化されたドキュメンテーション、サンプルアプリ、インテグレーション機能を備えた Okta Starter Developer Edition は、本日より developer.okta.com にて一般提供を開始します。

Press Release



Okta について

Okta は、あらゆる人のアイデンティティとアクセスを安全に管理するベンダーニュートラルなサービスプロバイダーです。Okta が提供するプラットフォーム「Okta Identity Cloud」により、クラウド、オンプレミスを問わず、適切な人に適切なテクノロジーを適切なタイミングで安全に利用できるようにします。7,000 以上のアプリケーションとの事前統合が完了している「Okta Integration Network」を活用して、あらゆる人や組織にシンプルかつ安全なアクセスを提供し、お客様の潜在能力を最大限発揮できるように支援します。JetBlue、Nordstrom、Siemens、Slack、T-Mobile、Takeda、Teach for America、Twilio を含む 10,000 以上のお客様が Okta を活用して、職場や顧客のアイデンティティを保護しています。